



3月27日(木)  
~28日(金)

少年連盟  
リーダー研修会開催

# 北海道 教区時報

第230号

発行所  
札幌市中央区北3条西19丁目  
(郵便番号 060-0003)  
北海道教区教務所  
電話 011-611-9623  
編集 北海道教区教務所  
発行人 黒田 正宜

p 2 全国真宗青年の集い  
北海道大会実行委員長談話

p 3 第1回若婦人研修会

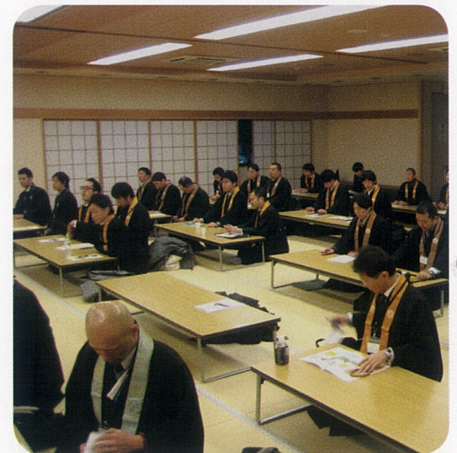
p 3 ほっこりプロジェクト



## 決定

2014  
全国真宗青年の集い  
北海道大会

2014(平成26)年  
7月26日(土)  
7月27日(日)



p 4 第6回若寺婦研修会

p 5 青年僧侶協議会  
本山参拝

p 6 まことの保育大学講座



p7 シリーズ区令

p8 北海日誌  
常例一覧

## 「二〇一四 全国真宗青年の集い 北海道大会」開催日決定

今年開催の、「二〇一四 全国真宗青年の集い 北海道大会」開催日が七月二十六日(土)〜二十七日(日)に決定いたしました。そこで、今回の大会の実行委員長である、札幌別院仏青の上野美佳さんにお話を伺いました。

**事務局** よろしくお願います。さて、早速ですが上野さんが仏青に入ったきっかけはどのような経緯ですか？

**上野さん** 私は札幌龍谷高校の卒業生なのですが、隣がお寺というご縁で、学生時代からお寺の行事などお手伝いさせていただいてました。卒業後にお寺に行った時に、「忙しい？暇してる？若い人が集まる楽しい会があるんだけど」と、素敵な職員の方に声をかけられ、お寺でやる楽しい会って何だろうと興味を持ったのが始まりです。

**事務局** 素敵な職員…気になりますねえ。。。これまで仏青を続けてこれた理由は何かありますか？

**上野さん** 仏青に仲間入りをし、何年か参加しない時期もありましたが、辞めようとは思いませんでした。楽しいこと・自分のやってみたいことができる場所であり、様々な年齢・職種のメンバーなので色々な考えや話が聞けて勉強になる。何と言っても仏青に行けば大好きな仲間と会えて自然と

笑いあえる居心地の良さがあるからだと思います。

**事務局** 素敵なメンバーがいらっしゃるんですね。

さて、これまで何度か仏青の全国大会に参加されているようですが、全国大会はどのようなものですか？

**上野さん** 各地の仏青のカラー・らしさを表現できる大会だなと思っています。

全国大会で出会い友達になった人とまた会える場でもあり、また新しい出会いの場でもある。そして教区みんなで全国各地に行けるのは、団結というか、もっと仲良くなれる盛り上がりがある機会、たなとも思います。

**事務局** 初めての方ばかりでなく、全国大会で会える友達もいるのですね。それだけでなく、自分の教区の友達との親睦も深まるとは、一石三鳥ですね。

今回の北海道の大会は、テーマが「大自然―仏青よ未来を描け―」ですが、どのような思いからこのテーマになりましたか？

**上野さん** 札幌別院仏青もそうなのですが仏青会員の減少や、世の中の仏教離れなどにより、連盟や各ブロックの活動が縮小傾向にある現状を、なんとか変えて、新しい進化に向かって行きたいという思いからです。北海道は門徒中心として寺族の方々に支えて頂いて



10月に行なわれた熊本での全国大会で大会旗が北海道へと手渡されました。

いますが、全国的にはそうではありません。北海道仏青のありのままを感じて、それを新たなスタイルとして、他のブロックに広めていける大会を大自然のある北海道で見せることができたらなと思います。がこめられています。

**事務局** 今回は、大会を実行する側ですが、参加する時とのちがいはありますか？

**上野さん** 参加する時は、楽しみ！どんなことするんだろうと思つて参加しますが、実行する側は、「お・も・て・な・し」を含め、どこまで楽しんでいただけれるか、来て良かったと思つていただけれるか？私たち自身が、当日まで、もちろん当日も楽しく過ごすことができるかだと思つています。

**事務局** 自分たちも楽しむことは大事ですね。これまで全国大会に向けて多くの会議を開催していると思いますが、実行委員長として一番気をつけていることはなんですか？

**上野さん** 人の話を最後まで聞く

こと。

あまり意見を言えない人や、メンバーの表情を見ること。

会議に出席できない人には事前・事後報告をして、次の会議に来にくい雰囲気にはならないようにしています。

**事務局** 実行委員長は大変ですね？

**上野さん** よく「実行委員長は大変だね」と言われますが、まとめる力のない、まだまだ未熟な私を、北海道教区の仲間・先輩たちの支えにより、大変という言葉のない「長」でいさせてもらえてるんだと思います。

**事務局** 最後に、一言お願いいたします。

**上野さん** 全国大会に向けて、準備を進めています。北海道のカラーをたくさん出せるような大会を作りたいと思います。よろしくお願いたします！！



# 第一回 教区若婦人研修会開催

去る、十月十日(木)に、今年度初めて北海道教区仏教婦人会連盟(阿部敬子会長)主催により「教区若婦人研修会」が開催されました。参加者が集まるか不安の中での企画となりましたが、若婦人をはじめ、在家出身の若寺婦にも参加いただき、無事に開催することが出来ました。

初開催ということもあり、内容は「浄土真宗の基本」と題し、教務所長からの法話、そして、仏事の心得・歌唱指導を後志組照覚寺ご住職の佐々木墨師よりお話いただきました。

まず、ご法話ではお寺の意味合い、そして仏教とは何かを中心にお話いただき、『ご縁を重ねていくことで見えてくる世界、気づきがある、是非所属寺への参拝を基本としていただきたい』と纏めてくださいます。



続いての仏事の心得・歌唱指導では、合掌、念珠の持ち方の指導の後、念珠のいわれ、合掌の形の意味等をお話いただき、歌唱指導では恩徳讃、真宗宗歌を講師のギター演奏のもとに全員で唱和しました。

最後に、お楽しみみのケーキとコーヒーを準備しての茶話会。ケーキを四種類用意し、コーヒーと共に自己紹介の後、お寺のご縁や普段のお寺参りについてお話すると共に、昨年度、総連盟主催の「若婦人中央研修会」参加者より参加の感想をいただき、中央研

修会への参加を奨励し終了しました。

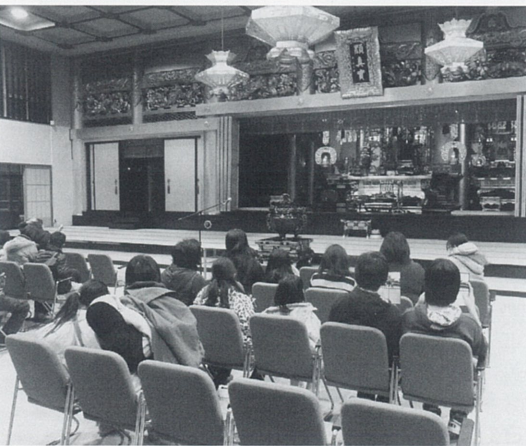
今回は、仏婦常任委員のスタッフの他、引率の坊守さんが託児を引き受けてくださり、参加者は講義に集中することが出来ました。次年度は、若婦研修会との併催も検討し、より多くの方に参加いただき、中央研修会へ参加いただくよう企画していきたいと考えておりますので、今から各寺院の仏教婦人や、ご門徒の皆様にお声掛けいただき、参加奨励いただきます。



## ほっこりプロジェクト実施

去る十二月二十五日から十二月三十一日まで七日間において、高線量地域在住の親子を対象とした、北海道教区保養事業「ほっこりプロジェクト」を実施いたしました。

このプロジェクトは、北海道教区重点プロジェクト「災害支援」に基づく事業であり、北海道教区重点プロジェクト実行部会にて所掌いたしました。参加者二十七名、一〇家族が来道され、北海道内寺院八ヶ寺にて滞在いたしました。現在、事業反省や参加者、受入寺院の意見を集約しておりますので、詳細については次号においてご紹介いたします。



## 第六回北海道教区 「若手寺族婦人のつどい」開催

去る、十一月二十六日(火)に、教化センター札幌別院にて寺族婦人会連盟(金龍諒子 会長 主催)若手寺族婦人のつどい」を開催しました。全二十三名の参加があり、昨年度よりも若干ではありますが増加しました。

今回の研修会は、開催趣旨の「ふだんは各々寺院において活躍している若手寺族婦人が集って、お互いの悩みなどを話し合い、思いや希望を共感する」とし、餅づくりの実演と試食をはじめ、仏教婦人会やキッズサンガなどで活用できる料理の調理法や、秘訣などを紹介したほか、「災害支援」についての取り組みなどについて話し合いを行いました。

以下、話し合いで出た意見掲載いたします。

- 一、「災害支援について」
- ・一畝運動(門信徒と一緒に)について自身の一畝の土地で実った野菜等を被災者に届ける活動)の勧めや、野菜だけでなく法事などでいただく調味料等を送ることも支援の一であること、箱一つでも支援を継続することが大事である。
  - 二、「寺族婦人を楽しむ」
  - ・餅づくりに重宝する器具とし

て、「餅切り器」を紹介。

・餅については、下記に掲げる味付けを実食しました。

○あずき、きなこ、バター醤油、みたらし、チーズ、いそべ、納豆、ココア。

・境内で実ったもの、門信徒からいただいたもの等でできる、各種について個々にレシピを紹介しながら実食した。

○こくわジャム、山葡萄ジャム、ブルーベリージャム、山イチゴジャム、お供えミカン・オレンジで作るマーマレード、栗の渋皮煮、ハスカップの塩漬け(おにぎり)など。

・多忙な坊守を助ける器具として、掃除器械「ルンバ」が紹介されました。

・そのほか「布教使へのおもてなしレシピ」や「門徒との接し方のコツ」なども参加者の経験を踏まえて活発にいろいろな事例が紹介されました。

今回で六回目を数えたこの集いであるが、結果的にはもつともリラックスした雰囲気、活発な意見が大変多く出されました。来年度以降もさまざまな工夫をし、継続することが望まれた研修会となりました。



## 第三十回全国保育大会 第一回実行委員会

去る、十二月四日(水)教化センター札幌別院にて「第三十回全国保育大会第一回実行委員会」が開催されました。全国保育大会は隔年で開催されており、二〇一五(平成二十七)年度に北海道教区担当にて開催予定です。実行委員会では、実行委員長として殿平善彦さん。副実行委員長として日笠和也さん・山宗真さん。事務局長には横湯誓之さんが就任いたしました。保育連盟の大会テーマである「すべてが、わたしを生かしている」くつながら・縁起く」のテーマのもと「まことの保育」を深める研修会にしたいと思っております。



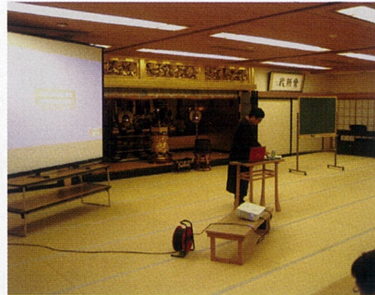
# 浄土真宗青年僧侶連絡協議会 本山参拝

去る、一月二〇日に本願寺にて、浄土真宗青年僧侶連絡協議会(以下、浄青僧) 本山参拝が行なわれました。浄青僧は現在七教区の加盟があり、全国大会と本山参拝を隔年で行なっております。今年度まで北海道担当(横湯誓之理事長)で、御影堂での本山参拝並びに安穩殿にて研修会を行ないました。

参拝では、新門様のご臨席を賜り挨拶の中で「地域の実情に応じた活動を若手僧侶の方々には積極的に行なっていたいただきたい」とのお言葉を頂きました。

研修会では、東北教区相馬組光善寺の藤井賢誠師に『福島の現状』をお話し頂きました。「東北では今でも毎日震災関係の報道があるが、こちらにきてニュースを見ても報道がない日もある。」「福島では毎日天気予報の後に、『今日の放射線量』がある」「原発から離れているのに放射線量の高い所をホットスポットというが放射線量の少ない方がホットスポットだと思ふ」「福島の小学生は放射線量の学習が行なわれている」「野生となつた動物が増えないように対

策を講じている」など、まだまだ復興にほど遠い現状をお話し下さいました。最後に『今日は他人の身、明日は我が身』今日聞いたことを、御自坊の方々にお話し頂きたい。まだまだ、興味を持ち続けていたいただきたい。」とまとめられました。その後、懇親会があり親睦を深め解散しました。来年度担当は備後教区で行ないます。



## 第39回教区少年リーダー研修会開催！！



いつやるの？



**3月27日(木)～28日(金)**  
に札幌別院で開催しますよ！！



少年連盟に登録していないと参加できないの？



そんなことはありません。  
小学4年生～中学3年生までどなたでも参加できますよ。  
※学年は新学年(2014(平成26)年4月1日現在)。

詳しくは、別紙の案内をご覧ください！！たくさんのご参加お待ちしております☆

# 第四十一回 北海道ブロック まことの保育大学講座開催

去る、一月十八日(土)く十九日(日)胆振組本光寺・港北保育所にて、北海道教区保育連盟(宮川恵秀理事長)主催、「第四十一回北海道ブロックまことの保育大学講座」が六十四名の参加者のもと開催されました。

今回は、大槌町の安渡保育所元園長の芳賀和代さんをご講師として迎え『すべてが、わたしを生かしている』くつながり・縁起く』のテーマのもと研修を行いました。

先生はまず「被災の体験を反省も踏まえてお話しさせていたくださいます。」としたうえで、当時の様子を訥々(とつとつ)と語り始めました。

安渡保育所は大槌町の中でも埋めたて部分にあり、地震や津波も起こりうると言う伝承などもある地域だったそうです。

しかし、公立の保育所なので、職員が少なく転勤もあるため避難訓練などに



ついて考える時間がなかなかとれなかったそうです。しかし、震災の数年前から地域の方々との避難訓練を行なうようになり、そのおかげで震災時には避難することができたそうです。しかし体は動いてもやはり慌てて、防災無線などは一切聞こえなかったそうです。

「避難訓練では地域の人と協力して行なうことが実際にも役に立ち、それにより普段からの挨拶や行事にお互いが参加するようになり、地域・保育所の活発化になる」

「避難するまでしか考えてなかったが、実際はそこから未知の保育の始まりであった」とお話し下さいました。また、当たり前が当たり前でない事に気づかされ、園としての長期計画等は大切であるが震災以降『この時、この時間』を大切にしようになったとお話し下さいました。

同じ保育士としての目線からの話に参加者の中には涙を流しながら講演を聴いている方もいらつしやいました。

その後の分科会では、「避難訓練の中身の検討が必要である。」「訓練のための避難訓練であった。」等の反省の言葉が出ていま



した。また「当たり前前を当たり前と思わず、一日一日を過ごせていることがすごい事である」とまと

めた班もありました。その後、港北保育所の見学を行動いきました。普段なかなか見ることが出来ない他園の様子を、保育所の先生方に質問を繰り返し見学を行ないました。

その後、登別へ移動し、懇親会を行ないました。各園景品を持ち寄り、クイズやゲーム、じゃんけん大会などを行い、親睦を深めました。

二日目は、おあさじの後、パネルディスカッションを行いました。コーディネーターに別海くるみ幼稚園加藤泰和園長、パネラーに講師の芳賀先生、教務所長、多度志保育園殿平真園長が登場しました。

殿平園長は実際のボラティアの様子や現在の状況を、教務所長は阪神淡路大震災の体験か



ら、芳賀先生は質問に応える形で話し下さいました。

最後に閉会式で補任式を行ない九名の先生方を、まことの保育者として補任いたしました。

今回の大学講座では、いのちを預かる職業である保育士は、今、目の前にあるいのちを大切にしているのか。また、守るための方法を講じているのか。保育者自身が毎日毎日、園が始まって終わること、問われた研修会となりました。

## ～シリーズ区令③～

## 北海道教区災害対策規則

本規程は、教区内における非常災害、激甚災害に対する災害対策を確立するため、設置されました。北海道において、1993(平成5)年に釧路沖地震、南西沖(奥尻)地震を皮切りに、2003(平成15)年には十勝沖地震が発生いたしました。また、北海道外においては、1995(平成7)年に阪神淡路大震災が発生し、多くの死者、負傷者が出ました。その非常災害、激甚災害に対応すべく、2005(平成17)年に「北海道教区災害対策規則」が設置されました。

この規則は、主に災害発生時における情報網の設定、被災寺院に対する見舞金交付について、示されており、災害発生時における情報網は、宗派「中央災害対策委員会」、教区の「教区災害対策委員会」、組の「組災害対策委員会」にて災害情報の共有化を図ります。この情報共有の上で、各機関が連携し、災害への具体的対応を模索いたします。現在、「教区災害対策委員会」は委員長を教務所長とし、各組組長16名、教区会議長、教区会副議長の合計19名にて結成されております。この委員会の所掌事項としては、「教区の災害対策に関すること」「災害情報の収集に関すること」「災害対策を中央災害対策委員会に報告すること」「教区外の災害対策に関すること」「見舞金額の査定」と主に五項目あり、非常災害に備えるため、常設されております。

また、被災寺院に対する見舞金交付につきましては、教区内寺院が被災した場合において、被災程度、対象物件より見舞金額を「教区災害対策委員会」にて査定をし、被災寺院に交付しております。見舞金査定の為に、被災寺院は所定の申請書に、被災原因、被災程度などを証明する関係書類を添えて、組長を経て、教務所長へ被災状況資料の提示をしていただきます。

「北海道災害対策規則」の運営については、毎年教区内寺院より拠出いただく拠出協力金を以て充てさせていただきます。この資金は、教区内外にて発生した災害に対応するためのものであり、その用途については、「教区災害対策委員会」「教区会」にて審議され、決定されます。現在、教区内にてこの拠出協力金が「被災時における保険金」という認識があるようですが、誤解であります。

## 見舞金額一覧

被災程度	対象物件	給付額
全損	本堂 本庫	100万円 30万円
半損	本堂 本庫	50万円以下 20万円以下
一部損壊	本堂 本庫	30万円以下 10万円以下
	付属建物	15万円以下

以上

▼北海日誌

【報告】

- 11月5日 釧路組 巡回学習会(釧路市)
- 6日 根室組 巡回学習会(厚岸町)
- 7日 保育連盟全国大会準備会 保育連盟研修委員会
- 18日 講社ブロック講師研修会
- 22日 第7回重点プロジェクト実行部会
- 25日 連研のための研究会準備会
- 26日 第6回若手寺族婦人のつどい
- 27日 浄土真宗本願寺派派更生保護司研修会「北海道支部の集い」(京都)
- 28日 浄土真宗本願寺派派更生保護司研修会(～29日京都)
- 29日 第2回少年連盟理事会
- 12月2日 実践運動 第4社会部会
- 2日 後志組 巡回学習会(札幌市)
- 3日 龍谷総合学園理事会(京都)
- 4日 保育連盟全国大会実行委員会
- 実践運動 僧侶研修部会三役会
- 5日 十勝組 巡回学習会
- 6日 北海道仏教連盟評議員会
- 7日 留萌組・宗谷組 巡回学習会(稚内)
- 全国仏青第7回行事部会
- 第1連区仏教壮年連絡協議会(～8日新潟)
- 実演布教研修会・布教団役員会
- 10日 実践運動 第4回寺院活動支援部会
- 副輪番・賛事研修会(～11日京都)
- 11日 重点プロジェクト正副部長会
- 第4回巡講講習会(胆振組 真宗寺)
- 12日 北見西組 巡回学習会 第5回門信徒教化部会
- 札幌矯正管区教誨師理事会
- 18日 第2回常備会
- 19日 寺院振興対策委員会・災害対策委員会・組長会
- 得度習礼講習会説明会
- 20日 北海道教区保養事業事前説明会
- 第8回重点プロジェクト実行部会
- 24日 実践運動 部長作業部会
- 実践運動 第4回常任委員会
- 25日 北海道教区保養事業(～31日迄)

- 28日 教務所年末年始休暇(～6日迄)
- 1月7日 教務所事務開始日
- 9日 真宗教団連合研修委員会
- 17日 管区教誨師連盟事務局長会議(東京)
- 18日 まことの保育大学講座(～19日登別)
- 20日 第5回巡講講習会(胆振組 真宗寺)
- 浄土真宗青年僧侶協議会本山参拝(京都)
- 22日 実践運動中央委員会
- 24日 北見東組 巡回学習会(本覚寺)
- 25日 全国真宗青年の集い 第3回実行委員会
- 28日 実践運動 第4回僧侶研修部会
- 30日 実践運動 第6回寺院活動支援部会

【予定】

- 2月3日 連研のための研究会
- 4日 実践運動 第5回社会部会
- 6日 札幌組 巡回学習会(札幌市)
- 仏婦常任委員研修会(～8日 京都)
- 7日 空知北組 巡回学習会(圓覺寺)
- 12日 第6回巡講講習会(～13日 札幌別院)
- 13日 常例線協議会
- 第1連区実践運動職員研修会(新潟)
- 15日 仏壮中央研修会(～16日 京都)
- 第1ブロック仏青研修会(～16日 東京)
- 18日 胆振組 巡回学習会(伊達市)
- 19日 日高組 巡回学習会(様似町)
- 20日 第6回 門信徒教化部会
- 27日 実践運動 第5回常任委員会
- 3月3日 宗教者懇談会(大谷派教務所)
- 6日 第3回常備会
- 第1連区青年布教使研修会(～7日 長野)
- 12日 北海道仏教会連盟評議員会
- 13日 真宗教団連合理事・評議員会(大谷派教務所)
- 25日 教区会
- 26日 組長会 実践運動委員全体会
- 27日 第39回リーダー研修会(～28日)
- 29日 仏教章のための学習会・研修会(～31日)

※予定は変更する場合がございますので、ご了承下さい。

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧路根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I
水智	光山	小林	生土	林川	打本	松山	岡原	藤	安德	吉村	片山	芳滝		田村		蒲地	筑波	畑中
浄志(大分教区・大海組・眞光寺)	道潤(兵庫教区・神崎組・西正寺)	邦頭(安芸教区・山県太田組・安養寺)	昌行(北豊教区・京仲組・正山寺)	涉(北海道教区・北見東組・秀岳寺)	厚史(北海道教区・上川南組・専証寺)	教宗(北海道教区・空知南組・法王寺)	弘和(山口教区・宇部小野田組・明照寺)	順生(北海道教区・留萌組・西暁寺)	剛典(大阪教区・西淀川組・養善寺)	隆真(熊本教区・託麻組・良覚寺)	英道(四州教区・飯山南組・源正寺)	智仁(北海道教区・十勝組・顕勝寺)		慈水(福岡教区・下川東組・西教寺)		眞証(大分教区・大野組・極楽寺)	敬道(山口教区・岩国組・教法寺)	尚治(福井教区・河和田組・明正寺)
経・智敬(熊本教区・宇土北組・宝林寺)	柴田 弘司(福岡教区・鞍手組・願照寺)	長岡 康明(兵庫教区・姫路西組・西誓寺)	徳川 眞英(山陰教区・大田組・浄土寺)	山下 慎也(北豊教区・京仲組・慈光寺)	小原 静也(山陰教区・三隅組・妙蓮寺)	増田 廣樹(東京教区・茨城東組・清心寺)	和氣 秀剛(奈良教区・吉野西組・圓光寺)	三栗 得生(北海道教区・空知北組・光明寺)	齋藤 断城(山陰教区・鹿足組・善正寺)	吉川 昭恵(北海道教区・留萌組・信楽寺)	不死川 昌史(大阪教区・天野北組・明教寺)	吉村 隆真(熊本教区・託麻組・良覚寺)	吉川 秀洋(北海道教区・留萌組・善勝寺)	原 英太郎(北豊教区・京仲組・円成寺)	齋藤 断城(山陰教区・鹿足組・善正寺)	網干 善一朗(兵庫教区・高砂組・善行寺)	辰田 眞弥(北海道教区・空知南組・報恩寺)	倉上 学(東京教区・世田谷組・正法寺)

北海道教区常例布教日程(予定)

2月

3月

敬称略

※変更になる場合がございますので、ご了承下さい。